

環境経営レポート

2024年度（2024年4月～2025年3月）



 **永大化工株式会社**

〒547-0041

大阪府大阪市平野区平野北 2-3-9

TEL 06-6791-3355

FAX 06-6791-7121

発行：2025年5月

環境経営方針

永大化工（株）はプラスチックに携わる企業としての責任を自覚し、企業活動と地球環境の調和を目指し、資源の保護、並びに環境汚染防止を推進し、環境保全活動の質的向上を継続的に進めていきます。

環境経営活動方針

当社の事業活動及び製品、サービスにおいて環境に与える影響を認識、評価し、下記の方針を定め、全従業員に周知し、全員参加で取り組む事とする。

1. 地球温暖化防止の為、二酸化炭素の排出量を削減する。
2. 持続可能な社会の為の省資源を目指した製造、販売プロセスの構築及び節水に努める。
3. 全部門において、循環型システムを開発し、廃棄物削減を進める。
4. 化学物質の適正管理に努める。
5. 環境に関する法規制及び行政の環境施策を厳守し、環境保全に努める。
6. 地域社会の環境保全に貢献出来る職場環境作りを目指す。
7. 環境経営システムの継続的改善に努める。

制定：2019年6月28日

改定：2023年4月1日

代表取締役社長

浦 義則

1. 事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

永大化工株式会社 代表取締役社長 浦 義則

(2) 所在地

本 社 〒547-0041 大阪市平野区平野北 2 丁目 3 - 9

奈良事業所 〒639-0261 奈良県香芝市尼寺 4 0 8

天理事業所 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町 6 8 8

栃木事業所 〒322-0302 栃木県鹿沼市深程東山 9 9 0 - 1 2

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者： 総務部長 徳岡 幹裕 TEL： 06-6791-7753

担当者： 総務部総務 1 課 松下 有美 TEL： 06-6791-7753

(4) 事業内容

- ・自動車用フロアマットの開発、製造及び販売
- ・合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

(5) 事業の規模

製品出荷額： 88.5 億円／2025 年度

全従業員： 162 人／2025 年 4 月 1 日現在

対象従業員： 162 人／2025 年 4 月 1 日現在

	本 社	奈良事業所 (小林倉庫含む)	天理事業所	栃木事業所
従 業 員 数	21	75	37	29
述 べ 床 面 積	1,112 m ²	6,960 m ²	6,705 m ²	6,438 m ²

(6) 事業年度

2024年4月～2025年3月

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：永大化工株式会社

対象事業所：本社・奈良事業所・天理事業所・栃木事業所

活動：本社 経理・総務・輸出入手続

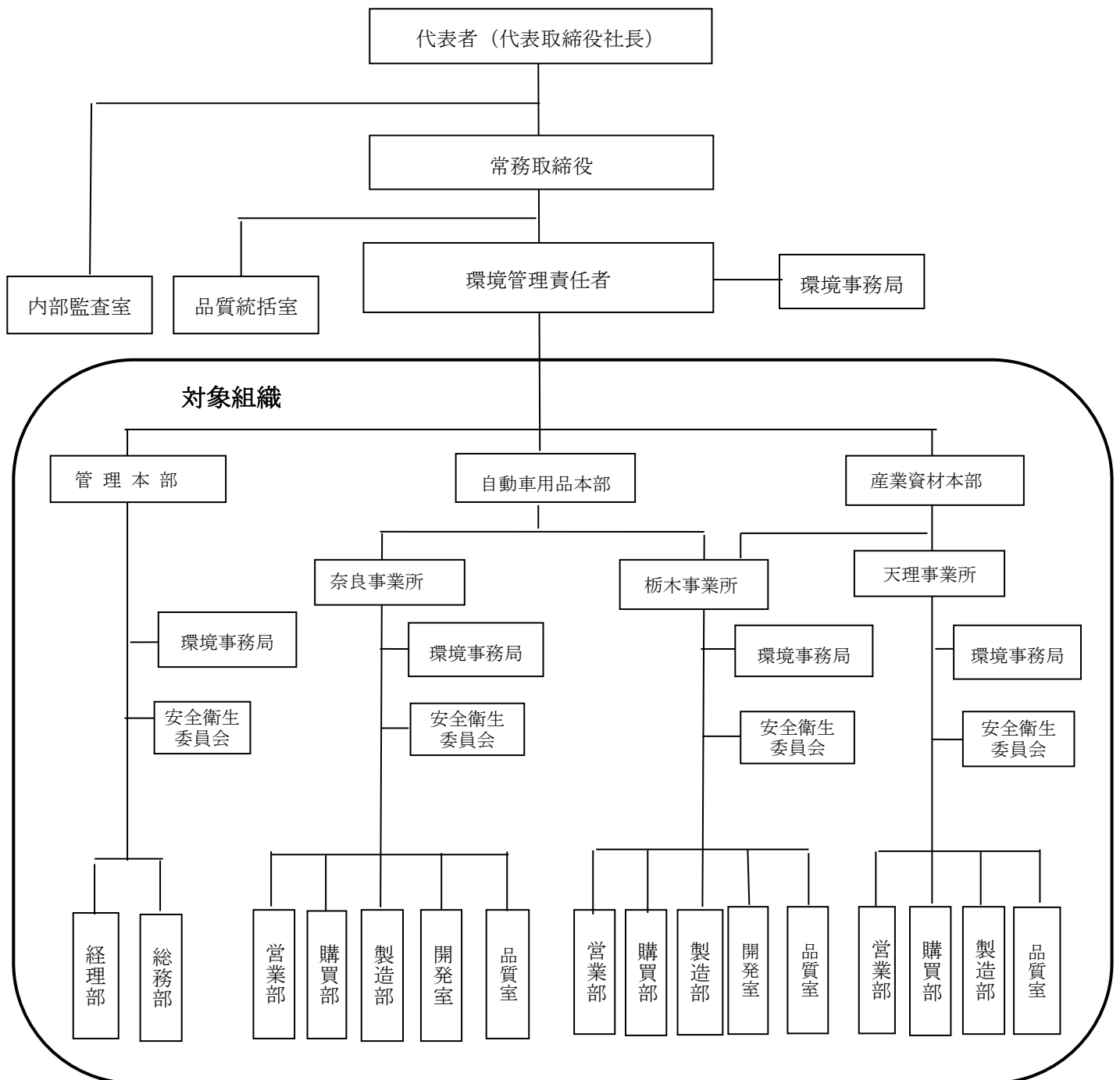
奈良事業所 自動車用フロアマットの開発、製造及び販売

天理事業所 合成樹脂異形押出成形品の開発、製造及び販売

栃木事業所 自動車用フロアマットの開発、製造管理及び販売

合成樹脂異形押出成形品の開発、製造管理及び販売

環境経営システム組織図



職 位	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、技能技術者を用意 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 法規制等の要求事項登録簿を承認 ・ 環境関連法規の遵守状況の確認 ・ 環境活動実施計画書を承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認 ・ 環境事務局を選任する ・ 「環境関連法規等チェックリスト」「環境関連法規等登録簿」の作成・改訂 ・ 環境活動レポートの作成、公開(事務局への備付けと地域事務局への送付) ・ 教育訓練の講師
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境関連法規等の最新版の管理
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動実施計画の実績集計
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育訓練計画を立てる。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営システムの実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境方針の周知
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門に関連する環境目標と環境活動計画の実施及び達成状況の管理と報告
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
安全生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネルギー(二酸化炭素排出量削減)、節水、廃棄物排出量削減及びグリーン購入の夫々について、全社活動を推進する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記、各活動の推進のための具体策を提案し実行する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動結果を部門長(本部長)へ報告する。
有害化学物質管理担当者 (奈良事業本部のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有害化学物質の管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 主な環境負荷の実績（2024年度）

各事業所における主な環境負荷の実績は次のとおりです。

項目	単位	本社		奈良		天理		栃木	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
二酸化炭素排出量	kg-CO2	17,292	13,466	147,248	96,417.59	380,556	283,430	161,956	180,350
廃棄物排出量	kg	1,051	892	102,609	79,987	9,622	2,513	38,471	1,330
産業廃棄物排出量	kg	0	0	98,553	76,984	8,820	1,700	38,342	1,330
一般廃棄物排出量	kg	1,051	892	4,056	3,003	802	813	129	0
水使用量	m ³	205	210	1,392	669	1,687	1,305	786	635

項目	単位	全体(本社・奈良・天理・栃木)				
		基準年(2022)	目標(2024)	実績	目標との差	目標(2024)
二酸化炭素排出量	kg-CO2	717,219	707,052.00 (△1.42%)	573,663,59	△133,388.41	701,966 (△0.72%)
廃棄物総排出量	kg	152,761	151,753 (△0.66%)	84,722	△67,031	151,249 (△0.33%)
産業廃棄物排出量	kg	146,679	145,715 (△0.66%)	80,014	△65,701	145,234 (△0.33%)
一般廃棄物排出量	kg	6,082	6,038 (△0.72%)	4,708	△1,330	6,015 (△0.38%)
水使用量	m ³	4,120	4,070 (△1.21%)	2,819	△1,251	4,045 (△0.61%)

全体(本社・奈良・天理・栃木)の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	717,219	674,029	573,663
廃棄物総排出量	kg	152,761	65,698	84,722
産業廃棄物排出量	kg	146,679	60,949	80,014
一般廃棄物排出量	kg	6,082	4,749	4,708
水使用量	m ³	4,120	3,204	2,819

以下、各事業所に分けて記載します。

4. 環境経営目標とその実績（本社）

本社における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2022年 (基準年)	2024年		2025年
				(目標)	(実績)	(目標)
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO ₂)	17,466	17,292 (Δ1.0%)	13,466 (Δ23%)	17,204 (Δ1.5%)
内 訳	電力の省エネ	使用量 (kWh)	47,445	46,971 (Δ1.0%)	49,845 (5.0%)	46,733 (Δ1.5%)
	ガソリンの削減	使用量 (L)	1,152	1,140 (Δ1.0%)	784 (Δ32%)	1,134 (Δ1.5%)
	都市ガスの削減	使用量 (Nm ³)	17.00	16.7 (Δ1.0%)	9.0 (Δ46.7%)	16.65 (Δ1.5%)
廃棄物総排出量		総量 (kg/年)	1,062	1,051 (Δ1.0%)	892 (Δ16.0%)	1,046 (Δ1.5%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	0	0	0	0
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	1,062	1,051 (Δ1.0%)	892 (Δ16.0%)	1,046 (Δ1.5%)
水使用量		総量 (m ³ /年)	207	205 (Δ1.0%)	210 (1.4%)	204 (Δ1.5%)

電力のCO₂変換係数は、2021年関西電力の係数（0.311kg-CO₂/kwh※調整後）を用いて算出。

※基準年を2022年に設定いたします。

※表中の削減率（ ）内の表記は、基準年の数値を基に算出しております。

5. 環境経営活動の取り組み計画と評価（本社）

「5%以上削減：◎良く出来た」

「1%以上削減：○まあまあ出来た」

「0.5%以上削減：△あまり出来なかった」

「0.5%未満削減：×全く出来なかった」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	×	目標 : 46,971 kWh 実績 : 49,845 kWh 達成率 : △506% 基準年度比 5%増 人事異動や入退社による業務時間に伴う照明並び空調使用の増加により年度目標は未達。 次年度は目標達成を目指す。
・ 不要時の消灯		
・ 空調温度の適正化		
・ 不要設備の電源OFF		
・ 照明器具の効率化		
2. ガソリンの削減	◎	目標 : 1,140 L 実績 : 784 L 達成率 : 3,195% 基準年度比 32%削減 オンライン会議等の取組み増により目標達成。
・ アイドリングストップ		
・ 急発進・急ブレーキの抑制		
・ オンライン会議の利用		
3. 都市ガスの削減	◎	目標 : 16.7 m ³ 実績 : 9.00 m ³ 達成率 : 7,900% 基準年度比 : 46.7%削減 前年からのガスコンロから IH コンロへの置き換え、ならびに昼食時の給湯取りやめの継続による。 年度目標達成。
・ EA21 への取組周知		
・ 機器更新検討		
4. 一般廃棄物の削減	◎	目標 : 1,051 kg 実績 : 892 kg 達成率 : 1,601% 基準年度比 : 16.0%削減。 前年度からの取組が継続されており、年度目標も達成。 今後もサーバー利用を進め、ペーパーレス化を推進する。
・ ゴミの分別回収		
・ 資料の電子化		
・ 会議資料や事務書類の簡素化		

・両面印刷の徹底		
5. 水使用量	×	目標 : 205.0 m ³ 実績 : 210.00 m ³ 達成率 : △145.0% 基準年度比 : 1.4%増 節水意識の徹底により今後も無駄のない状況を継続していく。
・節水運動		

6. 環境関連法規制等の順守状況（本社）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
消防法	自火報、排煙設備、消火器
フロン排出抑制法	業務用空調機（10.1kw×1台、7.2+4.5kw×1台）
廃棄物処理法	一般廃棄物
家電リサイクル法	業務用PC×20台

7. 環境関連法規制等順守状況の評価結果（本社）

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

また、過去に関係当局からの違反などの指摘はありません。

8. 外部コミュニケーション記録について

今回の期間中（2024年4月～2025年3月）は特に報告する事項はありませんでした。

9. 問題点（不適合）処置票について

今回の期間中（2024年4月～2025年3月）は特に報告する事項はありませんでした。

10. 管理者による全体の評価と見直し・指示（本社）

記録的な猛暑によるエアコン稼働時間増加により、特に夏場の電力消費量が増加するのはやむを得なかった。国際情勢の変化による世界的なエネルギー価格の高騰もあり、電力使用量の増加は経営へ深刻な影響を与えるだけでなく、消費量の削減は地球温暖化対策への貢献を明確に示す事にも繋がる為、特に目標達成に注力してほしい。

他の項目についてはほぼ目標を達成しているので、今後も継続して達成できるものと期待する。

1.1. 環境経営目標とその実績（奈良事業所）

当事業本部における環境経営目標と実績は次のとおりです。（小数点3位切り捨て）

項目		年度	2022年 (基準年)	2024年		2025年
				(目標)	実績(基準年比)	(目標(基準年比))
二酸化炭素排出量		総量 (kg-CO ₂)	147,839	147,248 (△0.4%)	96,417.59 (△34.78%)	146,952 (△0.6%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kWh)	410,956	409,312 (△0.4%)	339,008 (△17.51%)	408,490 (△0.6%)
		生産量あたり 使用量 (kWh/m ²)	5.038	5.018 (△0.4%)	4.570 (△9.29%)	5.008 (△0.6%)
	ガソリンの 削減 (営業部)	使用量 (L)	3,170.21	3,158 (△0.4%)	3,499.06 (+10.37%)	3,151 (△0.6%)
	ガソリンの 削減 (開発部)	使用量 (L)	328.78	327 (△0.4%)	170.29 (△48.21%)	リース契約終了に つき該当車なし
	ガソリンの 削減 (製造部)	使用量 (L)	2,420	2,410 (△0.4%)	1,790 (△26.03%)	2,405 (△0.6%)
	軽油の 削減	使用量 (L)	2,323	2,314 (△0.4%)	1,788 (△23.03%)	2,309 (△0.6%)
廃棄物総排出量		総量 (kg/年)	103,021	102,609 (△0.4%)	79,987 (△22.36%)	102,403 (△0.6%)
産業廃棄物排出量		総量 (kg/年)	98,949	98,553 (△0.4%)	76,984 (△22.20%)	98,355 (△0.6%)
一般廃棄物排出量		総量 (kg/年)	4,072	4,056 (△0.4%)	3,003 (△26.25%)	4,048 (△0.6%)
水使用量		総量 (m ³ /年)	1,398	1,392 (△0.4%)	669 (△52.15%)	1,390 (△0.6%)
LPGの削減		使用量 (Kg)	102.47	102.06 (△0.4)	30.00 (△70.72)	101.86 (△0.6)

電力のCO₂変換係数は、2021年度関西電力の係数（0.311kg-CO₂/kwh※調整後）を用いて算出。

上記の環境経営目標のほか、以下の取り組みを推進する。

② グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替え、データ収集の計画。

② 有害化学物質の適正管理・・・顧客要求に伴うMSDSの入手と保管

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の環境経営目標を含め改訂する事もあります。

※2024年度は基準年を2022年に変更いたします。

※表中の削減率（ ）内の表記は、基準年の数値を基に算出しております。

1.2. 環境経営活動の取り組み計画と評価（奈良事業所）

「10%以上削減：◎良く出来た」

「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」

「1%未満削減：×全く出来なかった」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	◎	<p>目標：409,312 kWh (基準年度比△0.4%) 実績：339,008 kWh 達成率：4,376.87% 基準年度比：17.51%削減達成。</p> <p>今期はB工場の全水銀灯をLED化。 来期はA工場をLED化の予定。 今後も省エネを意識し取り組みを継続していく。</p>
・不要時の消灯		
・空調温度の適正化		
・不要設備の電源OFF		
・ムリムラムダを排除した生産管理		
・照明器具の効率化		
2. ガソリンの削減（営業部）	×	<p>目標：3,158 L (基準年度比△0.4%) 実績：3,499.06 L 達成率：△2,593.28% 基準年度比10.37%増加。 消費ガソリンが目標ガソリンに対して増となった。 9月/12月に消費ガソリンが500Lを超えたことが要因であると考え。但し、走行距離に 関しての平均燃費はFREEDのHV効果か不透明だが、比較的 目標達成出来ている様に考える。HV車が増となればさら に燃費は改善の見込み。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
3. ガソリンの削減（開発部）	◎	<p>目標：327 L (基準年度比△0.4%) 実績：170.29L 達成率：12,051.37% 基準年度比48.21%削減達成。 使用頻度が少なかった為、リース契約満了を機に契約終了（ファミリア）。次年度以降対象車種なし。</p>
・アイドリングストップ		
・急発進・急ブレーキの抑制		
・冷房の控え目使用		
4. ガソリンの削減（製造部）	◎	<p>目標：2,410 L (基準年度比△0.4%) 実績：1,790 L 達成率：6,508.26% 基準年度比26.03%削減達成。</p> <p>生産量にも関係はあるが、日頃より課員のリーチリフトの使用を心がけたおかげで目標の燃料使用量を抑えることができたと思われる。今後も引き続き、更なる使用燃料の削減に努めて行</p>
・アイドリングストップ		
・急発進急ブレーキ		
・フォークリフト空ふかし禁止		

・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		きます。
5. 軽油の削減	◎	目標 : 2,314 L (基準年度比△0.4%) 実績 : 1,788 L 達成率 : 5,757.64% 基準年度比 23.03%の削減達成。
・アイドリングストップ		年間を通して目標達成となった。これ以上の削減は難しいかもしれないが、継続して取り組みたい。
・冷房の控え目使用		
・フォークリフトの空ふかし禁止		
・屋内でのバッテリーリフト使用頻度の向上		
6. 産業廃棄物の削減	◎	目標 : 98,553kg (基準年度比△0.4%) 実績 : 76,984kg 達成率 : 5,549.58% 基準年度比 22.20%の削減達成。
・ゴミの分別回収		今期リサイクル可否の見直しに取り組んだが、即吐出不具合につながるリスクがあり来期も継続したいが慎重に進める。
・工程不良品削減		
・必要以上のサンプル手配防止		
7. 一般廃棄物の削減	◎	目標 : 4,056kg (基準年度比△0.4%) 実績 : 3,003kg 達成率 : 6,563.11% 基準年度比 26.25%の削減達成。
・ゴミの分別回収		ペーパーレス化によるコピー紙類の低減に加え営業事務所の新聞類の廃止で削減が進んでいる。
・コピー紙の裏紙利用		
・会議資料や事務書類の簡素化		
・両面印刷の徹底		
8. 水使用量	◎	目標 : 1,392 m ³ (基準年度比△0.4%) 実績 : 669 m ³ 達成率 : 13,036.48% 基準年度比 52.15%の削減達成。
・節水運動		設備の老朽化により度々漏水に悩まされている。発見のタイミングにより水

・節水治具の利用		道使用量の増減が影響するので対処していく。
9. LPG の削減		目標 : 102.06Kg (基準年度比△0.4%) 実績 : 30.00Kg 達成率: 17,680.78% 基準年度比 70.72%の削減達成。
・LPG 使用量削減目標を朝礼で周知	◎	使用量については時期的なものもありますが、節約を心掛け、数値を維持出来る様、監視していきたい。
・LPG 使用用途の必要性再考		
9. 環境配慮型製品の開発		モノマテリアルマットの開発について、リサイクルを含めて方向性が決まってきた。物性評価も完了し、量産品への採用が決定。社内での新規ラミネート設備の製作も順調に進行中。
・モノマテリアルマットの開発	◎	
10. 有害化学物質の管理		顧客要求対応、公的機関へのP R T R 届け出等、化学物質は確実な管理ができた。継続していきたい。
・P R T R 法指定化学物質保管量の把握	◎	
・化学物質関連法規の順守 ・顧客規制化学物質含有調査の実施		

1 3. 環境関連法規制等の順守状況（奈良事業所）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の送風機4台・7.5kw以上の空気圧縮機4台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機4台
廃棄物処理法	廃プラ（フロアマットプレス抜きロス）、PCB 廃棄物、水銀廃棄物
消防法	指定可燃物貯蔵（製品・仕掛品・原材料）最大数量
フロン排出抑制法	恒温槽1台、チラー2台、空気圧縮機5台
高圧ガス保安法	溶接用ガス（アセチレン・アルゴン・酸素）
家電リサイクル法	液晶テレビ1台、洗濯機2台、パソコン50台
道路交通法（安全運転管理者）	社用車5台（ムーブ・ヴォクシー・ランディ・フリード・タイタン）

1 4. 環境関連法規制等順守状況の評価結果（奈良事業所）

環境関連法規制等の遵守状況の評価結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

また、過去3年間にわたって関係当局からの違反などの指摘はありませんでした。

15. 外部コミュニケーション記録について

今回の期間中（2024年4月～2025年3月）は特に報告する事項はありませんでした。

16. 問題点（不適合）処置票について

今回の期間中（2024年4月～2025年3月）は特に報告する事項はありませんでした。

17. 代表者による全体の評価と見直し・指示（奈良事業所）

トランプ関税やエネルギー価格の高騰・円相場の推移によって今後も厳しい経営環境が懸念される。このような状況下にあっても、省エネ・CO₂削減、廃棄物の再使用・再資源化などの社会的課題を解決する取組を今後も継続し、持続可能な循環型社会の実現に貢献していかなければならないと考える。ただ、ここにきて環境配慮型製品の開発（モノマテリアルマット）が順調に進んでいる。S社と共同開発の旨プレス発表し注目度が増してきている。来期には本格稼働の予定であり楽しみである。

18. 環境経営目標とその実績(天理事業所)

当工場における環境経営目標と実績は次の通りです。

項目		年度	2022年 (基準年)	2024年		2025年	2026年
				(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量		総量 (kg-CO ²)	388,322	380,556 (Δ2%)	283,430 (Δ27%)	376,672 (Δ3%)	372,789 (Δ4%)
内訳	電力 (製造)	使用量 (kWh)	1,185,203	1,161,499 (Δ2%)	1,137,132 (Δ4.1%)	1,149,647 (Δ3%)	1,137,795 (Δ4%)
		単位あたり 使用量 (kWh/kg)	14.186	13.902 (Δ2%)	13.234 (Δ6.7%)	13.760 (Δ3%)	13.619 (Δ4%)
	電力 (営業)	使用量 (kWh)	23,636	23,163 (Δ2%)	22,629 (Δ4.3%)	22,927 (Δ3%)	22,691 (Δ4%)
	軽油	使用量 (L)	931	912 (Δ2%)	973 (+4.5%)	903 (Δ3%)	894 (Δ4%)
	ガソリン	使用量 (L)	4,153	4,070 (Δ2%)	3,720 (Δ10.4%)	4,028 (Δ3%)	3,987 (Δ4%)
	LPG	使用量 (kg)	112.2	110 (Δ2%)	5.0 (Δ95.5%)	108.8 (Δ3%)	107.7 (Δ4%)
廃棄物総排出量		総量 (kg/年)	9,818	9,622 (Δ2%)	2,513 (Δ74.4%)	9,523 (Δ3%)	9,425 (Δ4%)
内訳	産業廃棄物	廃棄量 (kg/年)	9,000	8,820 (Δ2%)	1,700 (Δ81.1%)	8,730 (Δ3%)	8,640 (Δ4%)
	一般廃棄物	廃棄量 (kg/年)	818	802 (Δ2%)	813 (Δ0.6%)	793 (Δ3%)	785 (Δ4%)
水使用量		総量 (m ³)	1,721	1,687 (Δ2%)	1,305 (Δ24.2%)	1,669 (Δ3%)	1,652 (Δ4%)

電力の変換係数は、2021年関西電力の係数(0.311)を用いて算出しました。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進します。

①グリーン購入の推進…リサイクル材への切り替え

②環境配慮製品の開発…循環材での新規製品の開発

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改定することもあります。

19. 環境経営活動の取り組み計画と評価(天理事業所)

「10%以上削減:◎良く出来た」 「5%以上削減:○まあまあ出来た」

「1%以上削減:△あまり出来なかった」 「1%未満削減:×全く出来なかった」 「未達:×」

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
1.電力の削減(製造部 他)	△	【使用量】 目標 1,161,499kWh 実績:1,137,132kWh 達成率:202.8% 基準年度比:4.1%削減 【単位当たり使用量】 目標:13.902kWh/kg 実績:13.234kWh/kg 達成率:335.21% 基準年度比:6.7%削減 基準年より生産量は増加しているが、場内照明のLED化が進むなど、電力の削減が出来ている。
・照明のLED化		
・待機電力の削減		
・省エネ対応設備の見直し (冷却エアコンプレッサー→ブロアに変更)		
2.電力の削減(営業部 他)	△	目標:23,163kWh 実績:22,629kWh 達成率:212.9% 基準年度比:4.3%削減 基準年と比較するとLED化が進み、電力使用量を削減することができた。
・省エネ対応設備の見直し		
・クールビズ、ウォームビズ運動		
3.軽油の削減	×	目標:912L 実績:973L 達成率:△221.05% 基準年度比:4.5%増加 生産量、出荷量の増加に伴い、フォークリフトの使用頻度が高くなり、軽油の使用量が増加した。
・エコドライブ運動展開		
4.ガソリンの削減	◎	目標:4,070L 実績:3,720L 達成率:521.69% 基準年度比:10.4%削減 ハイブリッド車への買い替えが進んだことにより、ガソリンの使用量が減少した。
・エコドライブ運動展開		

<ul style="list-style-type: none"> ・買い替え時に省エネ対応車購入を検討 		
5.LPGの削減	◎	目標:110L 実績:5L 達成率:4,872.73% 基準年度比:95.5%削減 開発部で試験機を使用する回数が少なかった影響と思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・節約運動 		
6.産業廃棄物(廃プラ)の削減	◎	目標:8,820kg 実績:1,700kg 達成率:4055.56% 基準年度比:81.1%削減 廃棄物の分別が進み、排出量が減少した。
<ul style="list-style-type: none"> ・分別による社内再利用の見直し検討 		
<ul style="list-style-type: none"> ・押出、加工ロス低減(寸法取りの見直し等) 		
7.一般廃棄物の削減	×	目標:802kg 実績:813kg 達成率:31.25% 基準年度比:0.6%削減 ゴみの分別、印刷コピーの裏紙使用により、排出量が減少した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別、焼却から古紙回収への移行 		
<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールによる印刷コピー削減 		
8.水使用量	◎	目標:1,687 m ³ 実績:1,305 m ³ 達成率:1223.53% 基準年度比:24.2%削減 水漏れ監視活動により、水を無駄にすることなく使用することが出来ている。
<ul style="list-style-type: none"> ・節水型便器への交換 		
<ul style="list-style-type: none"> ・クーリングタワーからの水漏れ監視 		
9.グリーン調達	×	改めて調査を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル材への切り替え 		
<ul style="list-style-type: none"> ・名刺の再生紙への変更 		
<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン調達品の優先購入 		

20. 環境関連法規等の順守状況(天理事業所)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉碎機
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機及び粉碎機
廃棄物処理法	廃プラ
消防法	消火ポンプ室(防火水槽)
フロン排出抑制法	空気圧縮機
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫、洗濯機、パソコン

21. 環境関連法規制等順守状況の評価結果(天理事業所)

環境関連法規制等順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

22. 外部コミュニケーション記録について

今回の期間中(2024年4月～2025年3月)は特に報告する事項はありませんでした。

23. 問題点(不適合) 処置票について

今回の期間中(2024年4月～2025年3月)は特に報告する事項はありませんでした。

24. 代表者による全体の評価と見直し・指示(天理事業所)

環境経営活動の取組は、全社での必須の取組であり引き続き注力していきたいと考えます。

特に電力使用量については、当期で削減はできているものの更に削減に注力し、環境負荷低減に貢献したいと思います。

フロン排出の対象となっている設備については、2025年度に対応していきます。

2.5. 環境経営目標とその実績（栃木事業所）

当工場における環境経営目標と実績は次のとおりです。

項目		年度	2022年 (基準年)	2024年		2025年	2026年	2027年
				(目標)	(実績)			
二酸化炭素 排出量		総量 (kg-CO ₂)	163,592	161,956 (△1.0%)	180,350 (+10.2%)	161,138 (△1.5%)	160,320 (△2.0%)	159,502 (△2.5%)
内 訳	電力の 省エネ	使用量 (kwh)	340,044	336,643 (△1.0%)	375,964 (+10.6%)	334,943 (△1.5%)	333,243 (△2.0%)	331,543 (△2.5%)
	ガソリンの 削減	使用量 (L)	4,410	4,366 (△1.0%)	3,134 (△28.9%)	4,344 (△1.5%)	4,322 (△2.0%)	4,300 (△2.5%)
	LPG の削減	使用量 (m ³)	38.90	38.51 (△1.0%)	32.9 (△15.4%)	38.32 (△1.5%)	38.12 (△2.0%)	37.93 (△2.5%)
	灯油の 削減	使用量 (L)	890	881 (△1.0%)	770 (△13.5%)	877 (△1.5%)	872 (△2.0%)	868 (△2.5%)
廃棄物排出量		総量 (kg/年)	38,860	38,471 (△1.0%)	1,330 (△96.6%)	38,277 (△1.5%)	38,082 (△2.0%)	37,889 (△2.5%)
内 訳	産業 廃棄物	総量 (kg/年)	38,730	38,342 (△1.0%)	1,330 (△96.6%)	38,149 (△1.5%)	37,955 (△2.0%)	37,762 (△2.5%)
	一般 廃棄物	総量 (kg/年)	130	129 (△1.0%)	0 (△100%)	128 (△1.5%)	127 (△2.0%)	127 (△2.5%)
水使用量		総量 (m ³ /年)	794	786 (△1.0%)	635 (△20%)	782 (△1.5%)	778 (△2.0%)	774 (△2.5%)

電力の α 変換係数は、2021年東京電力の係数（0.451）を用いて算出。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

グリーン購入の推進・・・リサイクル材への切替え。

② 環境配慮製品の開発・・・循環材での新規製品の開発。

なお、当社を取り巻く環境の変化によっては、今年度の目標を含め改訂する事もあります。

26. 環境経営活動の取り組み計画（栃木事業所）

「10%以上削減：◎良く出来た」 「5%以上削減：○まあまあ出来た」

「1%以上削減：△あまり出来なかった」 「1%未満削減：×全く出来なかった」 「未達：－」

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
1. 電力の削減	×	目標 : 336,644kWh 実績 : 375,964kWh
・照明の適正管理		達成率：△1,056.47% 基準年度比：10.6%増加 新たに生産が始まった2022年度を基準に目標を立て、2022年度の1.0%削減を目標に電力の消費削減に努めた。 結果は、目標値を達成できなかった。 ダクト生産量が22年度から増えており、電力使用量も上がる結果となった。
・不要な照明の消灯		
・冷暖房の適温化		
2. ガソリンの削減	◎	
・エコドライブの周知徹底		目標 : 4,366 L 実績 : 3,134 L 達成率：2,893.81% 基準年度比：28.9%削減。
・定期点検の励行		今期のガソリン消費と燃費ともに目標を達成することができた。 今期も引き続き、エコドライブを心掛ける。
3. LPGの削減	◎	目標 : 38.51 m ³ 実績 : 32.9 m ³ 達成率：1,542.42% 基準年度比：15.4%削減。
・安全衛生委員会での節約喚起		前年度同様に使用量を削減することができた。今期も継続して使用量を節約できるように努力する。
4. 灯油の削減	◎	目標 : 881 L 実績 : 770 L 達成率：1,348.31% 基準年度比：13.5%削減。
・灯油ストーブを使用する場合温度を低めに設定する。		石油ストーブは設定温度を低めに設定して節約することができた。
5. 産業廃棄物の削減	◎	目標 : 38,342 kg 実績 : 1,330kg 達成率：9,664.08% 基準年度比：96.6%削減。
・異常在庫の分別による社内再利用を推進		今期の産業廃棄物は前期同様今期の廃棄物排出量は減少した。

6. 一般廃棄物		目標 : 129kg 実績 : 0kg 達成率: 10,000% 基準年度比: 100%削減
・ゴミの分別	◎	一般廃棄物の排出無し。
7. 水使用量		目標 : 786 m ³ 実績 : 635 m ³ 達成率: 1,987.50% 基準年度比: 20%削減。
・節水の周知徹底		
・出退勤時の給水バルブ開閉を励行	○	今期も引き続き節水を継続できるように努力する。
8. グリーン調達		
・リサイクル材への切替え	×	今年度グリーン購入品目を整理し、その購入比率を高めることに努めた。今期も名刺の再生紙変更について全社的に検討する。次年度も環境活動計画に沿って継続的に活動する。
・名刺の再生紙への変更		
・グリーン調達品の優先購入		
9. 環境に調和した製品開発		
・環境配慮型素材の製品開発	×	今期も環境配慮型素材を使用した製品の開発を推進し、顧客に採用して頂けるように、環境活動計画に沿って活動する。

27. 環境経営関連法規制等の順守状況（栃木事業所）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	7.5kw以上の空気圧縮機 1 台
振動規制法	7.5kw以上の空気圧縮機 1 台
廃棄物処理法	廃棄物
フロン排出抑制法	7.5kw 以上の業務用空調機 5 台、低温恒温恒湿器 1 台 コンプレッサ 1台、チラーリングユニット 2 台、 クーリングタワー 1 台、スポットクーラー 7 台
浄化槽法	浄化槽1台
家電リサイクル法	洗濯機 1 台、パソコン28 台

28. 環境経営関連法規制等順守状況の評価結果（栃木事業所）

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

29. 外部コミュニケーション記録について

今回の期間中（2024年4月～2025年3月）は特に報告する事項はありませんでした。

30. 問題点（不適合）処置票について

今回の期間中（2024年4月～2025年3月）は特に報告する事項はありませんでした。

31. 代表者による全体の評価と見直し・指示（栃木事業所）

①電力量については2022年より取組み始めた事業の生産物が年々受注増加傾向にあるため目標がクリアできていない。また、商品自体の特性として繁忙期と閑散期があるので、そういった場合の目標設定方法や、管理方法をどうすべきか検討する必要がある。

②今後CO2排出量の測定を求められる時流にあるため、対応できるよう準備を始めたい。

③環境に関し、全従業員に対し教育を行うよう推進する。

[今期中に教育資料作成して来期より実施できるようにする]

32. 代表者による全体の評価と見直し・指示（全社）

昨年度も「環境経営活動の取組み計画」の各項目に対し、各事業所において全員参加で取り組んでいただいたことを評価したい。

一方で、電力やガソリン等の使用量については、猛暑など気候変動等の影響や、事業活動の活性化の状況を受けて増加方向に変動する傾向もあり、一部において、やむを得ずこれらの使用量が増加した事業所もみられた。

今後も当社としては、省エネ・CO2削減、廃棄物の再利用・再資源化などの社会的課題を解決する取組みを継続して実施し、持続可能な循環型社会の実現に向けて、全社を挙げて目標達成に努めていきたい。

2025年3月31日

環境経営方針変更なし

環境経営目標・計画変更あり

実施体制変更なし

その他なし

以上